

# Salon

Vol.150 2024年5月 新緑号



ホール3F壁画 ポール・ゴッアマン作「アダムとイヴ」

- CONTENTS
- 01 Prime Interview — 山根一仁
  - 03 Phoenix Presents — Osaka Guitar Summer 2024  
ジャパニーズ・ミニマル・ミュージック  
アヌーナ
  - 05 Pick Up
  - 07 Essay de say — 媒介者を通じた新しい音の世界を体験しよう 中川賢一



# 音楽をやるのに大義は要らない 山根一仁さん

「初めてザ・フェニックスホールで弾いたのは高校生とのときでした」と話すヴァイオリニストの山根一仁さん。今から11年前、エール弦楽四重奏団のメンバーとしてご登場いただいた。その後、ドイツ・ミュンヘンへの留学を経て、現在は気鋭のソリストおよび室内楽奏者として、バッハやモーツァルトなどの古典から21世紀の音楽まで、幅広いレパートリーに力を注いでいる。今回のデュオリサイタルでは、盟友のピアニスト、小林海都さんとともに、ラヴェル、ショスタコーヴィッチ、バルトークなど、主に20世紀の名作に挑む。デュオの成り立ちや作品への想い、さらにはオフの過ごし方についてうかがった。

(後藤菜穂子 音楽ライター)

山根一仁  
(やまね・かずひと/ヴァイオリン)

1995年札幌生まれ。中学校3年在学中、2010年第79回日本音楽コンクール第1位、およびレウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞、岩谷賞(聴衆賞)並びに全部門を通し最も印象的な演奏・作品に贈られる増沢賞を受賞。同コンクールで中学生の1位は26年ぶりの快挙であった。以後、桐朋女子高等学校音楽科(共学)在学中より国内外の音楽祭、マスタークラスでソロ、室内楽とともに研鑽を積み音楽賞、ディプロマなど数多く受賞。国内外のオーケストラと共演を重ね、テレビ・ラジオの出演も多い。これまでに故富岡萬、水野佐知香、原田幸一郎の各氏に、またドイツ国立ミュンヘン音楽演劇大学ではクリストフ・ポッペン氏に師事。

©K.MIURA



# 小林さんは価値観を共有できる デュオパートナー

小林海都さんとはいつからデュオを組んでいらっしゃるんですか?どんなデュオを目指していますか?

小林海都さんと初めて共演したのは2020年の2月、ちょうどパンデミック直前のことでした。僕たちは同い年なのですが、当時は僕も彼もヨーロッパに住んでいたもので、ミュンヘンとバーゼルを行き来してリハーサルを重ね、いろんなレパートリーを試しながら、デュオとしての関係を築いてきました。リハーサルではお互いにアイデアを出しながら、ふたりで音楽を作り上げていきます。

海都さんの演奏にはシンプルさが核にあって、しかもけっして(一人称)だけになり続けないんですね。僕自身も、音楽家として(一人称)であるよりも、曲全体を俯瞰して、最初の音から最後の音までお客さんの前で表現することをつねに目指していて、彼とはそういった価値観を共有できるので、一緒に演奏していてとても楽しいです。

リハーサルでアイデアを出し合うときは言葉で相談されるのでしょうか?

言葉と演奏しながら、半々ですね。あうんの呼吸のときもありますが、言葉をまったく使わずに自分が思っている世界観、描いているものを共有するのは難しいですから。特に初めて合わせる曲の場合は、「ここはこう思うんだけどどう?」とか「こうしたいんだけどどう?」などと対話を重ねます。そして、そうしたプロセスを踏まえた上で、本番では全部忘れて演奏するのが理想です。今回のプログラムの場合、モーツァルトやバルトークには即興的な要素がありますし、ラヴェルにもユーモアの要素がありますので、本番中もアイデアが飛び交うかもしれません。

前半のプログラムはモーツァルト、クライスラーで始まり、武満徹、ラヴェルと続きます。選曲の意図についてお聞かせください。

僕は海都さんのモーツァルトが好きでなんです。本当にやさしく包みこんでくれますし、いろんな部分に興味をもち、感動しながら弾いてくれるんですね。モーツァルトの曇りのない純粋な音楽を、どうやって彼と一緒に作ることができるか—作りすぎないことがもしかしたら大事かもしれません。このト長調のソナタは、「バリ・セット」と呼ばれる曲集の第1曲で、若きモーツァルトがこれから自分を売り出していこうという時期に書いた意欲作。コンサートのオープニングにぴったりの曲だと思います。

クライスラーは、作曲家としてはもちろん、ヴァイ

オリニストとしても惹かれます。「ティータイム」にふさわしい小品を2作選びました。

ラヴェルのヴァイオリン・ソナタは僕自身、尊敬するレジス・パスキエ先生から教えてもらった思い出の曲でもあります。まるで全体が1つの長いフレーズでできているような音楽で、第1楽章を本当に一息で弾けたらよいなと思っています。また冒頭のピアノの旋律を海都さんのピアノで聴けるのも楽しみです。第2、3楽章では彼とどれだけ遊び心を出せるかが鍵だと思います。

武満徹の「悲歌」は初めて弾く曲なのですが、クライスラーからラヴェルの間に何か挟みたいと思って選びました。この「悲歌」は、人間の歌う哀歌とはちがって、むしろもっと大きな世界観を描いた音楽に感じます。いずれにせよ、ラヴェルへうまくつながると思います。

後半はショスタコーヴィチとバルトークですが、山根さんにとってショスタコーヴィチは特に思い入れのある作曲家だそうですね。

ええ、子どもの頃から僕はショスタコーヴィチが大好きだったんです。4歳のとき、音楽好きな両親が録画していたヒラリー・ハーンが弾くショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲のビデオを見ながらいつも踊っていました(笑)。僕がヴァイオリンを始めるきっかけにもなりました。

ショスタコーヴィチという作曲家は、人生の大部分をソビエトの政府から批判されながら生きた人ですけど、今回演奏するヴァイオリン・ソナタは比較的晩年の作品で、彼がようやく政府の抑圧から逃れて自由になり始めた時期に書かれました。その意味で、ソ連という感じはあまりなくて、ある意味で古典に原点回帰したような、どこか俯瞰しているすごい世界観をもった作品です。僕にとっては、宇宙よりも遠い場所にある音がかかっているというイメージで、好きな曲です。技術的にも精神的にもたいへんな大作ですが、海都さんとうまく作れたらと思います。

リサイタルを締めくくるバルトークの「ラブソディ 第1番」は、民族的な要素もあり、ヴィルトゥオーゾ・ピースとしての要素もあり、遊び心に富んでいます。本番でいかにテンポをずらしたり即興性を出したりするか、そうした面でもきっと楽しんでいただけたらと思います。

ザ・フェニックスホールへは今回、三度目のご登場ですが、ホールについてはどんな印象をお持ちですか?

最初が2013年のエール弦楽四重奏団、二度目が2014年の北村朋幹さんと横坂源さんとのピア

ノ・トリオで出演させていただきました。大きすぎず、しかも天井が高く立体的な空間と感じています。特に角度のある2階席が印象的です。ショスタコーヴィチやバルトークといったダイナミックな曲にもマッチする空間だと思いますし、他方で弱音もとてもよく通るので、ラヴェルなどの繊細な表現も味わっていただけたと思います。聴衆との距離感も近くて弾きやすいので、今回もとても楽しみにしています。

山根さんはかつてあるインタビュー記事で、ヴァイオリンは「究極の趣味」にしたいと語っておられましたが、音楽以外のご趣味はありますか?

僕は6歳まで北海道で育ちましたので、自然が大好きですね。そして自然が大好きだから旅行も好きです。一人旅にはまっていた時期は、屋久島に行ったり、秋田に紅葉を見に行ったり、ひとりでオーストラリアに行ったりしていました。

最近では友人とキャンプ旅行も楽しんでます。ピアニストで古楽器奏者の大井駿さんと瀬戸内海の無人島—借りられる無人島ですが—に行き行ってキャンプしたり、西表島で星を見たり。夜の川をカヌーで下ったときはふくろうが鳴いていて、「バルトークだなあ」と思いながら聴いていました。音楽家である前にそういうことが好きな自分でいたいと思っています。

自然というのはすべての源であり、自然の中にいると心が洗われますし、自分がちっぽけであることも実感します。だからこそ、音楽をやるのに大義は要らなくて、自分が好きだからやるんだ、という感覚になれますね。

そうした自然への深い愛と畏敬は、山根さんの音楽性にもきっと滲み出ているのだと思います。リサイタルがますます楽しみです。ありがとうございます。

## ティータイムコンサートシリーズ171 山根一仁×小林海都 デュオリサイタル

2024年7月19日(金) 14:00開演 指定席  
一般3,500円 友の会会員3,150円  
学生(25歳以下)1,000円 ※お菓子つき

■出演 山根一仁(ヴァイオリン)、小林海都(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ 長調 K.301  
クライスラー:愛の喜び  
クライスラー:中国の太鼓

武満徹:悲歌  
ラヴェル:ヴァイオリンソナタ 長調  
ショスタコーヴィチ:ヴァイオリンソナタ 長調 op.134  
バルトーク:ラブソディ 第1番

■チケットのお求め・お問い合わせ  
ザ・フェニックスホールチケットセンター  
06-6363-7999(平日10:00~17:00、土日祝休)





ザフェニックスホール  
友の会優先予約  
5月17日(金)  
10:00 受付開始

※友の会割引は一人様2枚まで

※発売初日は電話予約のみのお申し込みとなります

一般発売  
5月21日(火)  
10:00

インターネット予約による  
お申込みは5月22日(水)10:00から!

E-PHX会員(メール会員)「優先予約制度」終了のお知らせ

この度、E-PHX会員(メール会員)特典の「優先予約制度」につきまして、2024年4月をもって終了させていただくこととなりました。ご利用中のお客様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

なお、メールマガジン配信サービス(不定期発行)は今後も継続いたしますので、引き続きご愛読いただけますようお願い申し上げます。

# OSAKA GUITAR SUMMER 2024



ザ・フェニックスホールがお届けする真夏のギター祭典・大阪ギターサマー。福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス演奏会をメインに据え、若きギタリストの公開マスタークラスや愛好者によるギターアンサンブルの演奏を披露するなどクラシックギターの魅力を満喫できる内容をお届けします。今年は、修了コンサートに2012年に公開マスタークラスを受講した徳永真一郎さんも特別ゲストとして出演です。

スケジュール	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
8月24日(土)		開場	マスタークラス①	休憩	マスタークラス②	休憩	修了コンサート
※1日通し券で「公開マスタークラス」「修了コンサート」の両方をご鑑賞いただけます。マスタークラス終了後の入れ替えはありません。							
8月25日(日)				開場	福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス ジョイントリサイタル		
※途中で休憩があります。							

## 第1日 8月24日(土)

### 公開マスタークラス聴講 & 修了コンサート



#### 公開マスタークラス聴講 13:00開始 自由席

- ①13:00~14:10 講師 福田進一  
受講生 東光 受講曲 アグアド:序奏とロンド op.2-2
- ②14:25~15:35 講師 エドゥアルド・フェルナンデス 通訳:岩崎慎一  
受講生 前田遥香 受講曲 ロドリゴ:祈りと踊り

#### 修了コンサート 16:00開演 自由席

- 出演 公開マスタークラス受講生、アンサンブルワークショップ受講生(以上ギター) 特別ゲスト:徳永真一郎(ギター/2012年公開マスタークラス受講生)
- プログラム 【第1部】 公開マスタークラス受講生による演奏(約30分) 曲目 公開マスタークラス受講曲ほか  
【第2部】 徳永真一郎 ギターリサイタル(約30分)  
曲目 T.ミュライユ:テリュール ほか  
【第3部】 アンサンブルワークショップ受講生による演奏  
曲目 加羽沢美濃:3つのノヴェレット I. Wonderland II. Nameless Song III. Edge  
(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール2024年度委嘱作品)※世界初演

1日通し券 ¥1,500 友の会会員¥1,350

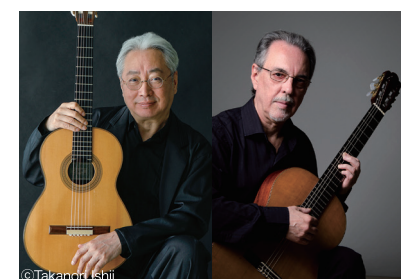
※1枚のチケットで「公開マスタークラス聴講」「修了コンサート」の両方をご鑑賞いただけます。なお、公開マスタークラス終了後の入れ替えはありません。

協賛:株式会社 現代ギター社

## 第2日 8月25日(日)

### <福田進一と仲間たちvol.13> 福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス ジョイントリサイタル 15:00開演 指定席

盟友と贈る、極上のギターソロ&デュオ!



出演 福田進一、エドゥアルド・フェルナンデス(以上ギター)

- 曲目 ■デュオ  
J.S.バッハ(福田進一編):協奏曲 二短調 BWV974(原曲 A.マルチェロ:オーボエ協奏曲)
- ソロ/E.フェルナンデス  
L.de.ナルバエス:3つのファンタジア  
F.ソル:3つのエチュード
- デュオ  
F.ソル:二人の友 op.41
- ソロ/福田進一  
酒井健治:エーテル放射(メロディア・ラビール II/2024/福田進一委嘱作品)
- デュオ  
G.サントルソラ:ソナタ・ア・デュオ 第1番  
T.アデス(E.フェルナンデス編):ダークネス・ヴィジブル  
吉松隆:アトム・ハーツ・クラブ・デュオ op.70a

入場料¥4,500 友の会会員¥4,050 学生(25歳以下)¥1,500

## ■アンサンブル・ア・ラ・カルト67

2024年  
10月12日(土)

15:00開演 指定席  
一般¥6,000(友の会会員¥5,400)  
学生(25歳以下)¥2,000

### ミニマル音楽の巨匠の知られざる全貌 ジャパニーズ・ミニマル・ミュージック ~オール・久石譲・プログラム~

出演 中川賢一(ピアノ・音楽監督)、石上真由子、森岡聡(以上ヴァイオリン)、安達真理(ヴィオラ)、鈴木皓矢(チェロ)、長谷川順子(コントラバス)、大石将紀、井上ハルカ(以上サクソフォン)、畑中明香、宮本琴子(以上パーカッション)

曲目 久石譲:「Kids Return」、「DA・MA・SHI・絵」、「揺れ動く不安と夢の球体」 ほか

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールのミニマル音楽プロジェクト第4弾は、満を持して久石譲さんを取り上げます。久石さんと言えば映画音楽の作曲家として世界的に有名ですが、作曲の出発点はミニマル音楽であり、現在も追求し続けています。今回のコンサートでは、第1部に久石さんが2010年以降に発表された室内楽作品を演奏します。第2部では2000年に発表されたCD「ヴィオリストを撃て」より演奏します。本作は久石さんのミニマル音楽作曲家としての野心作であり、全編ミニマル曲が並びます。10名の室内楽編成で、PA(音響拡声装置)を使用し、エッジを利かせたロックバンド風の演奏を試みます。疾走感溢れる久石さんのミニマル音楽の世界を存分に堪能してください。



## ■世界一周音楽の旅30

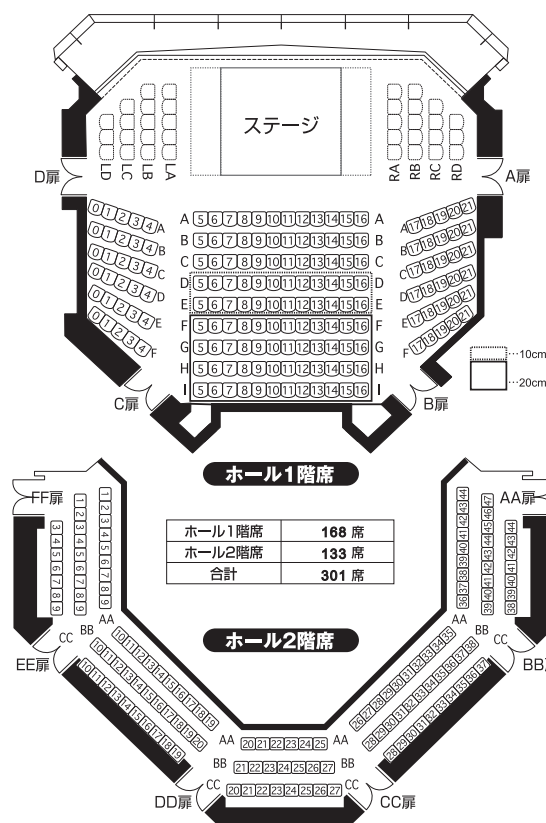
2024年  
11月23日(土・祝)

15:00開演 指定席  
一般¥5,000(友の会会員¥4,500)  
学生(25歳以下)¥1,500

### 幻想的なケルトの世界に誘う、神秘的コーラス・グループ アヌーナ

出演 アヌーナ  
曲目 「グリーンズリーヴス/スカボロー・フェア」 ほか(予定)

「アヌーナ」の魅力はなんといっても神秘的で透き通るハーモニーの美しさにあります。彼らのレパートリーの中心は中世アイルランドの聖歌や伝統曲であり、それらを現代の感覚で演奏する事で他のコーラス・グループにはない独自の世界観を創り上げています。例えばそれは「ハリー・ポッター」シリーズのような魔法の世界や、「ロード・オブ・ザ・リング」のようなファンタジー世界に特別な親和性があります。「アヌーナ」を聴いたことがない人にとっても、これらの世界観が好きな人にとっては間違いなく楽しんでいただけるでしょう。また、彼らの音楽性は他方面から注目され、一世を風靡したアイリッシュダンスの舞台「リバーダンス」や、ゲーム音楽の作曲家として人気の光田康典さんが手がける「ゼノブレイド」シリーズの音楽に参加するなど活動の幅が広いことも特徴のひとつであり、様々なファン層から支持されています。クラシックで伝統的なコーラスを軸としながらも、現代的で独自の世界観を創り上げる「アヌーナ」をお楽しみください。



## 公演チケットのお申し込み方法

お申し込みは  
お電話 06-6363-7999 またはご来店で

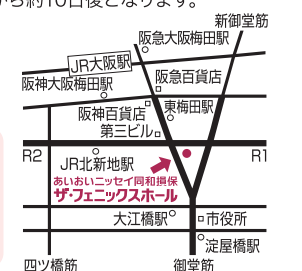
土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

### ■チケットお申込み後のお受け渡し方法

- 下記①または②のどちらかとなります。
- お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。営業時間は土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00です。
  - 先に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律450円)のみとさせていただきます。

振込口座  
00940-0-95351  
加入者名  
ザ・フェニックスホール

ザ・フェニックスホール  
チケットセンターは、  
ビル8階、  
エレベーターを降りて  
廊下右側です。





## エヴォリューションシリーズ公演が大阪文化祭賞奨励賞を受賞!

あいおいニッセイ同和損保が、フェニックスホールの共催事業「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」において、2023年11月7日に開催した会所幹也さんの公演が大阪文化祭賞奨励賞を受賞されました。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



### あいおいニッセイ同和損保が、フェニックスホール協賛・協力公演のご案内

フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

#### 協賛公演 KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka〜関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽〜 相愛ソロイストツ2024

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2024年6月5日(水) 19:00開演 指定席  
前売・当日 ¥6,000(友の会会員¥5,400) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 田辺良子、大谷玲子(以上ヴァイオリン)、竹内晴夫、芝内もゆる(以上ヴィオラ)、齋藤建寛、上森祥平(以上チェロ)  
曲目 ドヴォルザーク:弦楽三重奏曲 八長調 op.74, B.148  
シェーンベルク:浄夜 op.4  
ブラームス:弦楽六重奏曲 第2番 ト長調 op.36

今年もお届けします。相愛大学が誇る名プレイヤーによる弦楽の夕べ。ドヴォルザーク、シェーンベルク、そしてブラームス。今年もどうぞお聴き逃しなく!



#### 協賛公演 藤原道山×SINSKE 〜尺八とマリンバによる世界最小オーケストラ〜「自楽自賛」

主催 株式会社DO

発売中

2024年7月5日(金) 14:00開演 指定席  
一般前売¥5,000(友の会会員¥4,500) 一般当日¥5,500(友の会会員¥5,000) 学生前売¥2,500 学生当日¥3,000

出演 藤原道山(尺八)、SINSKE(マリンバ)  
曲目 藤原道山×SINSKE:組曲「風神×雷神」  
藤原道山:東風、おかえり、翔り、星月夜  
SINSKE:月夜浮遊、LIFE-風月同天、Ten CoLoRs ほか

尺八×マリンバ、世界に類のない唯一無二のデュオが「自楽自賛(じがじさん)」と題し、活動開始より自作自演して来た、尺八とマリンバのためのオリジナル楽曲を中心にお届けします。



#### 協賛公演 多川響子ピアノリサイタル 〜ベートーヴェン 最後のソナタ〜

主催 Office TAGAWA

発売中

2024年7月6日(土) 14:00開演 自由席  
一般前売¥4,000(友の会会員¥3,600) 一般当日¥4,500(友の会会員¥4,000) 学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

出演 多川響子(ピアノ)  
曲目 ベートーヴェン:ピアノソナタ 第30番 ホ長調 op.109  
第31番 変イ長調 op.110  
第32番 八短調 op.111

ベートーヴェンが生涯に渡って創作し続けた32曲のピアノソナタ。その最後の「3つのソナタ」は音楽史上の最高傑作と言っても過言ではない。51歳のベートーヴェンが辿り着いた境地にピアニスト多川響子が迫る。



#### 協賛公演 堀内優里×山縣美季デュオリサイタル 大阪公演

主催 合同会社Moon

発売中

2024年7月9日(火) 19:00開演 指定席 一般 ¥4,000 (友の会会員¥3,500) 学生¥3,000

出演 堀内優里(ヴァイオリン)、山縣美季(ピアノ)  
曲目 フランク:ヴァイオリンソナタ  
フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13 ほか

ヴァイオリン・堀内優里、ピアノ・山縣美季。今まさに輝きを増す二人の若手による初共演。メインとなるのは同時代に作曲された、フランスとベルギー、ふたつのイ長調のソナタ。暖かなピアノと、可憐なヴァイオリンが織りなす爽やかな風が、ホールを駆け抜ける。



#### 協賛公演 G.A.コンサルタンツ クラシック・スペシャル 関西弦楽四重奏団

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2024年7月11日(木) 19:00開演 指定席 一般¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生¥2,000 前売のみ。限定数。

出演 林七奈、田村安祐美(以上ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)  
曲目 ハイドン:弦楽四重奏曲 二長調 op.64-5, Hob.III-63「ひばり」(1790)  
バルトーク:弦楽四重奏曲 第2番 op.17(1917)  
ラヴェル:弦楽四重奏曲 へ長調(1902)

他の作曲家の弦楽四重奏曲の傑作選と共に約2年に渡りバルトークが聴けるこの機会はとても貴重です。是非お聴き逃しなく!!



#### 協賛公演 山中惇史 ピアノ・リサイタル「pensée」

主催 日本コロムビア

発売中

2024年7月12日(金) 18:30開演 指定席 前売・当日¥4,000(友の会会員¥3,500)

出演 山中惇史(ピアノ)  
曲目 スカルラッティ:ソナタ集より  
ヘンデル(山中編):アフエットゥオーソ、シャコンヌ  
J.S.バッハ(ブゾーニ編):シャコンヌ  
山中惇史:夏のシャコンヌ  
シヨパン(バックハウス編):ロマンス〜ピアノ協奏曲 第1番より ほか

今、また一歩一歩着実に歩みを進めていきたい、という想いから「シャコンヌ」を軸にしたプログラムが閃いた。ヘンデル、バッハ、スカルラッティの3人は1685年生まれ作曲家。私の敬愛する師、アンヌ・ケフェレックもこの3者のプログラミンで、ここぞ、フェニックスホールでリサイタルを開いており、その憧れ、オマージュとも言える。今の自分でしか語り得ないpensée(想い)を体感して頂きたいと思う。



#### 協賛公演 山本貴志 ピアノリサイタル

主催 フィラメント of ミューズ

発売中

2024年7月15日(月・祝) 13:00開演 自由席 一般¥5,000(友の会会員¥4,500) 学生(高校生まで) ¥2,500

出演 山本貴志(ピアノ)  
曲目 シヨパン:ノクターン 第4番 へ長調 op.15-1、即興曲 第2番 嬰へ長調 op.36、4つのマズルカ op.6  
シマフスキ:20のマズルカ op.50より第1曲・第2曲・第3曲・第4曲、変奏曲 変口短調 op.3  
シューマン:3つのロマンス op.28より第2曲 嬰へ長調、ピアノソナタ 第1番 嬰へ短調 op.11

公演中止

「ポーランドの心を伝えるピアニスト」として活躍中の、山本貴志がお届けするピアノリサイタルです。彼の愛してやまないシヨパンの曲をはじめ、至高の調べをお楽しみに、ぜひお越しくださいませ。



#### 協賛公演 関西二期会サロンオペラ 第21回公演『デイドとエネアス』

主催 公益社団法人関西二期会

発売中

【第1夜】2024年7月30日(火) 【第2夜】2024年7月31日(水) 両日19:00開演 自由席 前売・当日¥3,500(友の会会員¥3,150)

出演 指揮:森香織 ステージング:藪川直子  
ピアノ演奏:前川裕介 公演監督:斉藤言子  
【第1夜】吉中晴華、萩原寛明、別所香穂、小澤聖子、岸畑真由子、乃村八千代、種村ひかり、瀬戸口文乃、大上晃史  
【第2夜】山口慧、根本滋、上野緑、山本伸子、影原真由美、安川陽菜、高木華奈、鐘ヶ江仁美、井上ひろふみ  
【両日】西森美佳、丸山紗佳、矢代あずみ、河嶋紀子、高尾五色季、三浦菜摘  
曲目 ヘンリー・パーセル作曲:ネーム・テイト台本:『デイドとエネアス』  
<全3幕/英語上演/字幕付>

関西二期会サロンオペラは、気鋭の音楽家たちが集まる人気の高い公演です。今年はヘンリー・パーセルの最高傑作、オペラ「デイドとエネアス」をお届けします。古代カルタゴで繰り広げられる女王デイドとトロイの王子エネアスとの悲恋物語。バロック音楽と美しい歌声に響いて、愛と裏切りが現代に蘇ります。二人の運命を翻弄させる魔女たちのアンサンブルにもご注目! 舞台と近い親密な空間で、オペラの魅力をお楽しみください。



#### 協賛公演 KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka〜関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽〜 伊藤 恵 ピアノ・リサイタル 2024 “世界への挨拶”

主催 コジマ・コンサートマネジメント

5/10(金) 発売

2024年7月25日(木) 19:00開演 指定席 前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 伊藤恵(ピアノ)  
曲目 ベートーヴェン:ピアノソナタ 第1番 へ短調 op.2-1  
クララ・シューマン:4つの東の間の小品 op.15  
ロベルト・シューマン:アベッグ変奏曲 op.1  
ベルク:ピアノソナタ op.1  
ベートーヴェン:ピアノソナタ 第31番 変イ長調 op.110

【世界への挨拶】 「1」と名付けられた作品は、初々しい世界への挨拶。それはベートーヴェンもシューマンも。あの時代には、希望に満ちた未来への予感と共に、新しい世界を創造する美しい夢があった。夢と一緒に歌うクララの存在は、なんと心優しいことか。しかし、ベルクの「1」は、絶望的な世界への挨拶。儂く過ぎ去った時を見つめ、世界の終わりを歌う。ベートーヴェン「31」は、時代を超えて、祈り、世界を救う希望。ところで、世界はどこにある? 世界の名前は? それは幻? 伊藤恵



#### 協賛公演 NPO法人関西音楽人クラブ〜始まりは恐怖だった〜 秘められた怖さを知れば暑さも吹っ飛ぶ「納涼コンサート」Vol.3

主催 NPO法人関西音楽人クラブ

5/10(金) 発売

2024年7月7日(日) 15:00開演 自由席 前売¥3,500(友の会会員¥3,150) 当日¥4,000(友の会会員¥3,600)

出演 小川友子(プロデュース・ピアノ)、植田味香子、道場雅、林朝子、松村美知子(以上ピアノ)、杉原真理子、森本まどか、矢倉愛(以上ソプラノ)、宮田晴奈(ヴァイオリン)、橋本桂子(箏)、森田元(サクソフォン)、桂光姫(オーボエ)、岡本万貴(フルート)、金谷幸三(ギター)、管楽七重奏 ほか  
曲目 サン・サーンス:死の舞踏 ビゼー/沢田完編:カルメン・クライマックス 野田燦:舞 ブッチーニ:オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」  
武満徹:「海へ」 有馬礼子:桜月夜-うきさかげ唄- 沢井比河流:土声 ほか

#### 協賛公演 サマーミュージックフェスティバル大阪2024

主催 大阪アーティスト協会

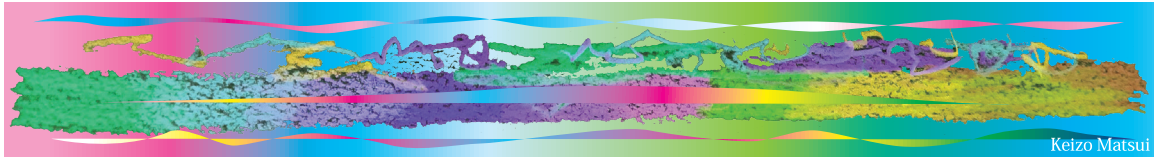
5/10(金) 発売

2024年8月10日(土) 17:00開演 自由席 一般¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生[4歳~高校生]¥2,000

出演 小味滲彦之(構成・監修)、平橋佳代子(案内役・ナレーション)、大野花歩、奥田妃奈、矢野くらら、深谷真己、森口綾子、木下たまたみ、福井真裕子、松本昌敏(以上ピアノ)、石井理子(ハープ)、安藤史子(フルート)、農頭奈緒、ギョルギ・バブアゼ、チブリアン・マリネスク(以上ヴァイオリン)、田中佑子、サザ・ゴリア(以上ヴィオラ)、大町副(チェロ)、福井聡(クラリネット)  
曲目 フォーレ:組曲「ドリー」op.56 ブーランク:「小象パールの物語」 ジョリヴェ:フルート、ヴィオラとハープのための小組曲  
ミヨー:ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのための組曲 op.157b、「世界の創造」(ピアノ五重奏版) ほか



## 媒介者を通した新しい音の世界を体験しよう



太平洋はわかるが玄界灘は難しい!  
日本海は太平洋よりわかりやすい!  
このお寿司の味はめちゃくちゃわかりやすい!  
このお寿司の味はありえないほど超難解である!  
ということはあるでしょうか?

多分、太平洋の色の方が日本海より好きだ…とか、このお寿司は美味しい!このお寿司は自分には合わない!と、いったことはあると思います。また、初めて食べるものがあつたとして、見た目はちょっと拒否気味だったとしても、食べてみたら美味しいということはあるのではないのでしょうか?

音楽に関しても私は同じで、作曲家の名前も知らない初めて聴く音楽に対し、聴くかどうか躊躇した後、いざ聴いてみたら凄く良かったということがよくありました。

「ゲンダイオンガク」というと一瞬怯む方も多いかもかもしれません。しかし、まずは理屈ぬきにその音に全てを委ねてみてください。例えば私は現代の絵画を鑑賞する時、しばしば何も考えずにただただ見ます。そうすると、今まで自分にはなかった感覚が呼び起こされることがあり、それが実にたまらないのです。もしかしたら、そこには難しいテーマや理論があるのかもしれません。でも私にはそれがわからなくとも十分に楽しめるのです。

お寿司にも、職人の凄まじいこだわりが詰まっていると思います。しゃりとネタの割合、酢飯のお酢の配合他、考えられないほど細かい理屈があると思います。しかし、食べる側は「今日のお寿司は美味しかった」で満足を得、明日からの生活の活力になるのだと思います。その上で、これまでに経験したことがない新しい「美味しい」を経験したならば、さらに人生きるよるこびや活力を生み出すことでしょ。

現代音楽もそうかもしれません。そういうことがあっても、特になぜそうであるかの理屈をわかる必要はありません。感じれば良いのではないのでしょうか?そこには訓練された職人の人生を通した素晴らしい感性が入っており、その感性、哲学を、まず我々は感覚的に享受すればよいと思います。

そしてその後、もし、もっと深く知りたいという興味が出たら、なぜその音が美しいのか、なぜその音が心を打つのか、その音に秘められている秘密を知るとさらに面白くなっていきます。理屈を知れば知るほどその深みを味わうことができると思うのです。まずは直感、その後に理屈で良いのではないかと思います。実際私も沢山の現代音楽を演奏しますが、まずは無心で楽譜を読み、音を出していくうちにだんだん楽しくなつてのめり込んでいき、いつの間にかいままに経験したことがない世界にどつぷりとはまっていることがよくあります。

現代音楽は、現代に生きる作曲家が各々の鋭いセンサーと感性で世の中を切り取り、感じたことが音を媒介として言葉にはできない凄いエネルギーと世界を見せてくれます。または現在、もしかしたら天から降ってきたものが作曲家という肉体を媒介として表される(作曲される)ものを体験できるのかもしれないかもしれません。それも単純に音に身を委ねて感じて、思う存分享受すればよいのではないのでしょうか。お寿司の味のように、味が合わないものがあるかもしれません。それはそれでよいと思います。とにかく聴いて、今まではない世界に身を置くのはいつも冒険です。是非音楽で冒険しましょう!

6月30日にザ・フェニックスホールで脳科学者の茂木健一郎さんとナビゲーターで博学でいらっしやる浦久俊彦さんと私で「脳科学×現代音楽」公演に出演いたします。私も沢山の素敵なゲンダイオンガクをお話で分解しながら演奏したいと思います。また「脳から見た音楽」という、「なぜ人間は言葉ではない音楽に魅了されるのか」に関するお話をきくのが楽しみです。ぜひ楽しみましょう。

また「音楽はどこへ行くのか?」という私にとっても大命題であることを3人でクロストークいたします。今からドキドキですが、是非皆様にこの時間一緒に音楽を、現代音楽について考えを巡らせる旅をご一緒したいと思います。皆様のご来場をお待ちしております!

(中川賢一 ピアニスト)

### ■公演情報

フェニックス・リベラルアーツ・プロジェクト vol.2 「脳科学×現代音楽」いま、劇場から考える、日本の文化、芸術。  
日程:2024年6月30日(日)15:00開演 入場料:一般¥3,500(友の会会員¥3,150) 学生(25歳以下)¥1,000  
出演:茂木健一郎(脳科学者)、中川賢一(ピアノ)、浦久俊彦(ナビゲーター)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211  
Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2024年5月  
発行 あいおいニッセイ同和損保  
ザ・フェニックスホール  
編集 谷 昌則  
デザイン 松井桂三有有限会社

